

Title: It's my Life



原 いっほ
知らない世界を満
みながら、おいしい
ものたくさん食べて
来ます！

● 最近のエントリー

私は今日、とっても悲しか
った。

(2011.06.26)

小さな卒業生だけど、とっ
ても大きな出会い

(2011.06.25)

思い出

(2011.06.25)

生活の糧

(2011.06.25)

● アーカイブ

2011年11月

2011年10月

2011年09月

2011年08月

2011年07月

2011年06月

2011年05月

2011年04月

2011年03月

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



RSS 2.0

It's my Life > 2011年06月 アーカイブ

11.06.26

私は今日、とっても悲しかった。

[Tweet](#)

[Check](#)

今日、悲しい事があった。

コルカタに来て一番良く行くお店、地球の歩き方にも載っている聞いたお店。
バックパッカーや、外国人に人気。

「ブルー スカイ カフェ」

この店員さん、少し日本語が話せる。
すぐくフレンドリー。

徳田さんの事を「キータ」と呼び、
いっほを、「いちゅほ」と呼ぶ。
なかなか発音が難しい。これは海外では「いちゅほ」でいこうかな。っと思う事多々。

お店に行くときーター、イチュホー

と覚えてくれる。料理は安く美味しい。

日本語がうまいからオーダーの時の返事は、

「は～い。

うん。

ありがとう～。」

可愛くて仕方がない。

そして今日、一人でお店へ行っった。いつも通りイチュホ～と覚えてくれた。いつもよりも
声に元気があった気がした。

いいな、おっちゃん。

トーストと、シェイクと、パンケーキを頼んだ。これで90ルピー。

っ、オーダーして5分後誰かが来たようだ。

なんか空気が変わった？・・・。

日本人のおばちゃんだった。

「ジャパニーズ？」

「はい、日本人ですよ。」

近くの孤児院でボランティアをしている人で、インドに20年近く来たことがあると話して
くれた。

その人は口を開いたとたん、このお店の裏口を平気で話した。

お店の人の目つき、空気は一瞬で変わった。

それまで陽気だったおっちゃんも機嫌が悪いのが一目で分かった。

おばちゃんは言う。

「この店員態度悪いのよ～。
とくにあの（日本語話せるおっちゃん）
インドの人って簡単にジョーク言うから本当になる。
マンゴージュース持ってきてバナナジュースだとかっていうし。
だから私、あの人の事無視してんの。
もう相手にもしたくない。
毎日作る人違うから味も違うの。ありえないよ。」

前まではここにたくさん日本人が来てただけど、
店員の態度悪いから最近では本当に来る人が少なくなったんだよ。
みんな日本人、怒っちゃったの。」

しまいは、

「悪い人と関わりたいなら紹介してあげるよ。

私たくさん知ってるから。

どんなのがいい？

ナンバから近寄ってくる男か。

益しまから近寄ってくる男か。

あ、それともレイプする人もいるよ。

インド、多いからね～。

あははは～」

マジで引いた。
ボランティアしている人とは思えなかった。

おっちゃんもスタッフさんも全然悪い人じゃないし、
いつも一生懸命親切にしてくれる。
時にはオムライスにハート書いてくれたり、
隣に座ったり、
ただ単に話したいだけで、日本人に親切なだけだよって思う。
店員も日本語が少し分かるから、彼らはどんな気持ちなんだろう。
すぐおっちゃんやお店の人に申し訳なかった。

いつもより遅れて料理が来た。

でもやっぱり美味しかった。

帰り際、

入り口におっちゃんたちがいた。

おっちゃんもあの人たち嫌いだって言った。

「ごめんね。
おいしかったよ。
私、あなたとマイフレンドだからね。」

私は言った。
それしか出来なかった。

でも、東京、日本好きだよって、最後に言ってくれた。

本当にやりきれない。

「また徳田さんと来るからね。
ありがとう。」

そう言って私はお店を出た。

鈴木くんがブログで書いたように、ツーリストはインド人に対してぼったくるとか、衛生的じゃないとか、文句ばかり言う。勝手だ。

私自身も、イメージとしては持ってたし、やっぱり警戒はしてしまう。インドという国は大きくてとても深い。FWでは知りきれない。自分の語の中もまだ分からない事納得できない事も多い。
だけど、数日間インドにいてそんな風に言われるのを聞いて悲しくなった。

これも、ある出会いがなかったら私もこんな風に書けてなかったかもしれない。
みんなのブログでもあるように、本当に出会いは大きい。

日本人にそんな風にインドの事を聞いて、私は今日、とっても悲しかった。

カテゴリ:

post by 原 いつほ | 日時: 2011.06.25 | [バナーリンク](#) | [コメント\(5\)](#) | [トラックバック\(9\)](#)

It's my life > 2011年06月アーカイブ

11.06.25

小さな出来事だけど、とっても大きな出会い

[Tweet](#)

[Check](#)

今日、とっても素敵な出会いがあった。

体調壊していてもにもインドを歩いてないから、歩いてもっとインド見てる人からしたら、こんなことで感動っ？
って思う人もいるかもしれない。

でも、なんかやっと呼吸ができた。

1000日目の感動をたくさんした。

嫌いじゃないけどなんだが分からないインドに対して、なにかずっと蓄しかった。
日本に帰りたくなった。
面白い事たくさんあるのに、猿猴や益しい人たちを見ているからインドを面白いと思えない自分もいた。

もう、嫌だ。
なんでこんなに楽しないんだろう。

って歩いていた時の事。
1人の男が橋を歩き、声をかけてきた。

「ハロー

(はあ。)

チャイニーズ？

(はいはいチャイニーズだよ。)

どこからきたの？

(チャイニーズって聞いててないらそれわ。)

少し話そうよ。

話せる？」

コルカタの街を歩いて、何處も声をかけられる。
一番中国人に間違われる。

いままでずっと関わらないようにしてきた。
面倒だったから。

でも今日、なんでか口を開いた。
本当に不思議。自分でもどうして話し始めたのかも分からない。

「日本人だよ。」

と言った私に、

「おお！ ナマステ！」

って、すごく嬉しそうに笑った。

見た目はまあチャライ。
後から聞いたが名前はチョコ。
しゃべれるんだって、しゃべってくれるんだって感じがした。

後は日本語が話せた。

彼と話したのはほんの少しの時間だった。
私が目的地まで行く数分の間。

「この通り危ないからね。
男、女大好きだからね。
気をつけて。
インドいいとこだけど、気をつけてね。」

すぐに日本語で話しかけてくるからね。

東京行ってみたいよ。
日本好きだよ。」

話をしててなんだか自分の方が、すごく嬉しくなった。

ああ、こんなに楽しいんだ。

初めて思った。

日常の面白い風景の感動とはまた違うもの。

ただ話をしたい人だけだったんだ。
少しの勇気がなかで、話してよかった。

もしかしたらチョコもたまたま事も考えていたかもしれないけど、不思議だけどあの時も今もそうは思わない。

話し終わった後、

「また何かあったら言ってね。
僕が助けるから。」

連絡先も何も知らないのに彼は言ってくれた。

「話してくれてありがとう。」

その言葉でお別れ。

なんだろう。本当にちょっとした事だったけど、
ただ話しをしただけだったけど、
なんだかとても素敵な気分になった。

インド、確かに分け分かんないけど、この出会いがきっかけで少し見方が変わった。

呼吸できた。

とても不思議なそんな感覚。

本当に小さな出来事だけど、とても大きな出会い。

だましてくるやつはだましてくる。

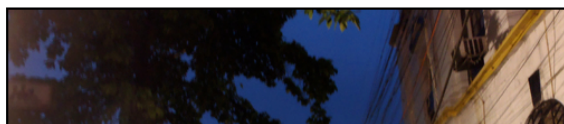
遠ばたでは普通に
「チョコチョコ」
「麻薬あるよ。」と言っている。
日本語も使ってくる。
油断は出来ない。

だけど、インド人全員が悪いやつでないと言う事を今日の出来事以外でも、身を持って体験している。
タクシードライバーのおっちゃん。ホテルマンの人、ドアマン、単純に道にいる人、お店の人。

いまでも普通に優しいインド人に出会ってきた。ただ、あなたが今日の出会いはいまでもと違う気がしてたまらない。

出会い方はそれぞれ違うし、感じる事もまた違うけど、偏見に揺われすぎずではいけないと自分に言った。

やっぱり聞けると面倒だし、英語が出来ないから断り方も不安もあった。だけど、人と出会うってこういうのなんだってあなたが改めて感じた。





本当にちょっとした出会いだけど、チョコとの出会いでインドに対しての見方が本当に変わった。

カテゴリ:
post by 原 いっほ | 日時: 2011.06.25 | [バーマリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(9\)](#)

[IV's my Life](#) > 2011年06月 アーカイブ

黒い川

[Tweet](#)

[Check](#)

孤児院へ行った帰りにタクシーのおっちゃんに貧しい人が春らす道があるという事で徳田さんと2人、連れてってもらいました。



ここに住んでいるのは皆、ムスラムという人たち。ヒンドゥー教が多いコルカタでは、ムスラムの人が職に就いたり春らしていく事は難しいとタクシーのおっちゃんは教えてくれた。

この道を歩けば両サイドに彼らは春らしが見える。インドへ来て、たくさん貧しい人々を見てきた。街中の春らしとはまた違う春らし。

驚いた。

と言いたいが、なんだかどこかで想像できてしまっていた気がする。実際には本当にすごい。家はぼろぼろだし、道路はくしゃくしゃ。そんなくしゃくしゃな道の上でこの水も分からないような水を汚れたコップで少女が飲んでいたり、洗濯をしていたり。基本周りにはたくさんのカラスたちが飛んでいた。





タクシーのおっちゃんは写真を撮っても大丈夫だと言ったが、お金を求められるのではないかと心配だった。

でも、こうして写真を撮っていて、一塵上の写真の子供を撮っているときに母親に言われたくらいで、不思議なくらいみんな笑顔くれた。

街とは暮らしが違うから、写真を撮ってお金を得るという事を知らないのかな。もしかしたら言葉がわからないから分からないだけで、お金を要求するような事も言っていたのかもしれない。一人にあげたらこの道に住む人すべてに渡さなくてはいけなくなってしまう。

でも彼らは渡さない私たちに、決して怒ったりしなかった。普通にみんな手を振ってくれて、こどもたちはみんな元気。



彼らの笑顔に、ただ、笑顔で返すしかなかった。写真を撮って見せると、とっても嬉しそう。きっと初めて、自分の顔が一瞬にして四角い小さな箱の中に入っているのを見たのかな。





それから道の途中で移動病院が来ていた。
なんか嬉しかった。
あ、ちゃんと支援が来てるんだって。
貧富の差の激しいインドでもこうやって底にする人というが、支援がある事に感動した。

「孤児院を知っていますか？」

と聞く人多くの人が知らないと言う。
多くの人が興味がないのになって事を感じていたから。
すごく嬉しかった。
孤児院に対してもそうだけど、やっぱり1人1人考え方も違うというのをすごく思う。

インドでの支援は少ないかもしれないけど、それでもあるとないとは違うと思う。
インドは近年少しずつだけ発展してきていると聞いた。これから先インドがどうなるか
分からないけど、支援の手が途絶えない事を祈りたい。



こんなに小さな赤ちゃん。
この赤ちゃんもまたこの地で育って、一生を終えるのだろうか。
そんな風に、この赤ちゃんだけじゃなくて、街中の子供や大人、ここに住んでいる子供や
大人たちを見て考える。彼らの将来ってどうなるんだろう。この人たちの人生ってなんな
んだろう。って考えさせられる。





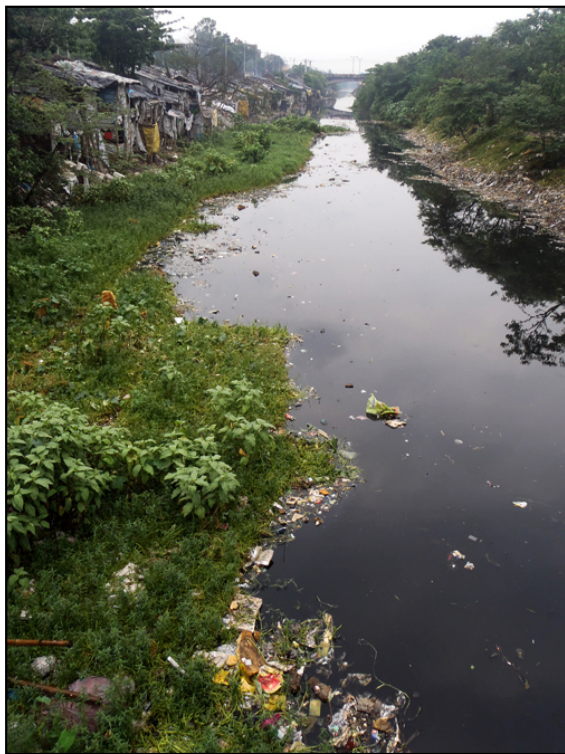
こうしてこの道を歩いていて、後らと出会い言葉が通じないなりに話をして写真を撮る。
なんかすこく泣きそうになった。
人のすごさと懸離さ。無力さ。いろいろなものを感じる。



最後に一つの川を見た。
その川の色は黒。
目を疑った。
初めて見た。

そしてこの川のすぐ横で彼らは暮らしている。
インドにはもっと大きなスラムとか、貧しい地帯もある。
でも、この道を見て街を見たただけだと、納得してしまう。
インドの平均寿命が63歳だと言われている事を。

悲しい事だ。



生活の柄

[Tweet](#)[Check](#)

どおしても私は彼らを写したかった。
 これがインドにある現実だと私は思うから。
 夢中でシャッターを押した。
 ビビってた。
 言葉もでなかった。
 悲しかった。
 怖かった。
 でも、伝えたい。

ここインドコルカタでは、いままで旅したアジアの中で一番、ストリートチルドレンや家のない人たち。物乞い。そんな光景を目にしています。もしかしらそれは多くの方が想像できる事なのかもしれません。でも想像できても考えるととても悲しい事だなんて改めて感じています。
 インドにも大分慣れてきて、面白いインドもあるしとても魅力あふれるインドの毎日の中で、私は魅力あるインドと同じくらいストリートチルドレンや、物乞いする彼らの方に目がいって、気になってしまいます。

今日でFWI出て100日が経ちました。
 とても早いです。半分過ぎた事も実感していません。
 私は今回のFWIでは孤児院をテーマに撮影しています。
 必然的に孤児と言われるお母さん、お父さんのいない子供たちを被写体として写真を撮っています。各国、孤児院を訪れるたびに彼らの背景を出来る限り知りたくなってきました。その思いは今も変わりません。というかもっと知りたいと思う。

そして今見ているのはその背景の一部だと感じています。
 路上で生活する彼らも、タクシードライバーも、露店のおちゃんも、精一杯1日を生きているように私は感じます。

いままで旅した中ではなかったほど、彼らの事を考える時間が多いです。

街には赤ん坊を抱えて金が欲しいといってくる母親がたくさんいます。そんな彼らを見て、もしこの母親が今よりも苦しい生活で、母親一人が生きるのにはいっぱいになってしまったら、この抱えている赤ん坊は棄てられ孤児になってしまうのか。それともゴミ箱や一日のつかないところに棄てられ誰にも見つけてもらえず、命をなくしてしまうのだろうか。

そう考えるととても悲しく怖いです。

コルカタの街を歩けばそこら中で大人も子供も寝ています。

お腹が減ったとバケツを持って橋を歩く少年。
 服がぼろぼろな少女や老婆。
 足が不自由で雇い込んで手だけを売って歩く人。
 10歳くらいがいないかの幼い子供から中学生くらいの子供までも働いている。

みんなお金が欲しいと手を差し伸べてきます。

路上で生活している人たちばかりでなく、インドはカースト制度がまだ残っているのだからとえ慰めがあったとしても厳しい事も多いでしょう。

私が彼らにお金をあげたとしたら、彼らは幸せになるのか？
 彼らの人生は変わるのか。
 これが彼らの生き方だと思わうが無いのか。

そんな風に思っても何もできない。

お金を渡す事を悪いとは思わないけど、なぜかできない。やらない。

なぜ、自分に問いかけても答えは出ていません。

街にいる彼らに対して、

「これが当たり前でこれがインド。」
 「輪廻だから」
 「カーストだから」
 「命がけで生きていくから」

「誰がなにが誰なんだ。」

日本に帰ればまた生活が始まるし、だから関係ない、他の国だから関係ない。
そんな言葉ではまとのれない気がします。

でも確かにこれがインドだと言われたら、インドなのかもしれません。
彼らにお金をあげても、勉強をさせてきてない彼らにとって働いていくという事はやはり
難しいのも現実。
興味の無い人にとってはどうでもいい事で、人それぞれ考え方も違う。
インド人の彼らには彼らの考え方（宗教等）があって、それを持っているのなら、私には
どうする事も出来きません。

そんな事を考えたら、自分の無力さを感じ、今自分が撮影している写真で子供たちの生活
は変わるのだろうか。と考える事が多々ある。

「結局お金。」

そう言ってしまうはそうではないし、結局お金なのかもしれない。
でも、それでもそういう現状があるなら私は現場で写真を撮り続けたい。撮る事に意味が
あると彼らを見て、改めて何も出来ない無力さと共に思います。孤児院を取材していても
何度も思っていました。

結局、私が見て感じているのは私の考えや感じ方ではないし、いろんな意見や考え方が
あるけれど、

彼らが生きているのなら、それに対して私は真っ正面から受け止めて向き合いたい。
彼らの生きる姿をどんな状況であろうと写したいです。

ただ、まだまだ腰の引けている自分も身にしみて分かるので悔しい、悔しさを悔しいだけ
では終わらせませんよ。頑固者です。

インドでたくさんの人たちと出会い、いろんな事を感じている中でも、
私は良いホテルに泊まり、時に日本と同じくらいの値段の料理を食べる事もあります。

この料理のお金があれば何人の貧しい人が路上で寝なくてすむのだろう。
この畜治代があればどれだけの子供たちが夜中街を歩いてゴミをあさらずにすむのだら
う。

インドという国、日本という国をいままででない程考えます。
インドにいたら、インドという国の嫌な部分も見えるし面白い事もたくさんあって知って
いく。それと同時に日本の良さもあり方を考えます。
考えてる中で自分の勉強不足を感じてしかたないですが・・・。
もっと勉強しなくちゃいけないし、したいです。

インドの街では本当ににげない瞬間、風景にも感動します。

そして彼らの純粋な笑顔を見た時、言葉にならない気持ちになります。

カテゴリ:

post by 原 いづほ | 日時: 2011.06.25 | [パーマリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[IV's my Life](#) > 2011年06月 アーカイブ

11.06.22

雨の日の物語。

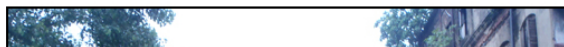
[Tweet](#)

[Check](#)

インド初日から体調不良で現在コルカタにいる原です。
体調は徐々に回復に向かっています。



コルカタは、チェンナイともハイデラバードとも、また違う街たなって印象です。
電球一つの明かりさえも綺麗で、早く体調を整えてもっと街へ出たくてしかたありません。





日本も梅雨に入ったと聞きました。
コルカタも毎日雨で、インドへ来てインドの暑さというものをガチで経験していません。
雨が降っているというのがあるが、普通に過ごしやすいです。

雨の中のインドもとても味があります。



今日も街を歩いたら突然大雨に。

晴れた日の街とはまた違う。
夜の街ともまた違う。

雨の日の物語がたくさんありました。
とっても素敵です。

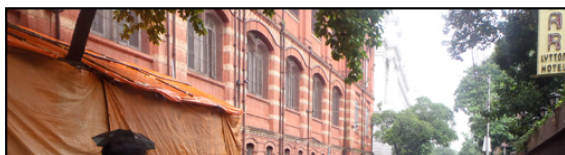
その時改めて思ったのが、これはオリンパス様からご提供して頂いているTough TG-310でなければこの雨にはかなわない！という事。

その瞬間に出会い写せるのに感動です。
オリンパス様に改めて感謝の気持ちを申し上げます。
ありがとうございます。

雨の日が少し好きになりました。



体調も戻ってきているというのもあるのでしょうか、
コルカタの街を歩いて、ごく普通の光景一つ一つに感動しています。





ホテルへ戻る道でヤギの群れと遭遇しました。
ここ、インド第三の都市コルカタです。しかも本当に中心部なんですけど・・・。
こちら辺に牧場でもあるの・・・？
なんなんだろうと不思議で面白い事ばかり。

そんな面白いと感じるインドもあれば、

街を歩けばそこ中に人、そして野良犬がうろろうしてたり、寝ています。
言葉でうまく言えないけど、
野良犬一匹でさえもなにか考えさせられてしまう。

そんなインドも感じてます。



この旅では本当にほんとうにたくさんの事を感じて見えています。



以前にも書きましたが、
インド、正直強烈です。
思っていたインドを遙かに超えています。

見るものすべてが面白くて、すべてに感かれています。

ただ、それでも体は合わないと言っているのが悔しいです。
でもこれが私なら自分自身を受け入れる事から。
今できる事から出来ない事も失敗するまで。
やるべき事を見失わぬようインド、旅りの時間過ごします。

体調を崩してしまった事で、徳田さんを始め、学校の先生方、たくさんの方にご迷惑をおかけしてしまい申し訳ありません。
ありがとうございました。

11.06.16

第二の街へ飛んできました。

[Tweet](#)

[Check](#)本日移動日でした。
チェンナイからハイデ

ラバードという街にきています。
チェンナイで、私が出会った辛いカレーを少し載せておきます。



カレー。それとバターナンとライス。
ご覧のようにこれだけの量を一人で食べきってしまうくらいインド、ご飯美味しいです。

この量を毎日？

そんなことは・・・ないですよ。

っと、チェンナイとも今日でお別れでした。

チェンナイの空港でシュールな光景に・・・
一目も懼らさずマッサージ機にかかるインドの人たち。やばいですね。



今私たちがいるハイデラバードはチェンナイから飛行機で約1時間。
コルカタとチェンナイの間に位置しています。



ハイデラバードは大きな湖があるのですが、地図上で見るとハート型の湖。

これは視物を見なくてわ・・・！



ハイデラバード到着して、暑いと思ったら全然。
涼しいです。

28℃

28℃?!
日本だったら暑いと感じるはずなのにって話なんですけど・・・。

過ごしやすいです。

今日ホテルの人に聞いた話では、もう雨期に入ったそうです。

チェンナイでもそうでしたが、雨が降ると停電します。

雨降る前に少し街を歩いてきました。

インド、やっぱり交通のちゃくちゃっ。
怖い。
ベトナムよりも。

そして、なぜか街の中に牛ではなく・・・ヤギ！



今日はすごく風強い。
街を歩けば砂ホコリやら排気ガスやらで結構つらいです。
でもこの街個性的・・・。

最後にホテルの屋上から。





なんとかわいいカエル。

それから虹。



FWIに出て不思議な程、何處も虹を見えています。
いつ見ても虹ってなんかいいですね。

カテゴリ:
post by 原 いっほ | 日時: 2011.06.16 | [パーマリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

It's my Life > 2011年06月 アーカイブ

11.06.14

マンゴー大好きだけど・・・我慢します。

[Tweet](#)

[Check](#)

昨日、チェンナイ郊外にある孤児院に行ってきました。



孤児院の住所と電話番号は分かっていたものの、どんなところかは分からない。
チェンナイという事で、都市部をイメージしていたら全然チェンナイの外れ。
リキシャで約2時間のところ。
リキシャに乗ってて風もあるし、それなりに日陰になっているのに関わらず暑い。そして
ホコリがすごい。
臭いも異常～
どこへ行っても独特。
小さなゴミ山の横を通れば、マスクをしていても問答無用。





チェンナイの孤児院は現地交渉での撮影。
とは言ってもまったく英語の出来ない自分、今回は徳田さんに助けて頂きながら交渉。
自由に撮っていいと許可を頂き数時間撮影をさせて頂きました。



孤児院には本来なら100人以上の子供たちが生活していますが、今はサマーバケーションで約45人しかいませんでした。



ちょうどお遊戯の時間だったらしく、私たちに歌を歌ってくれた。
初めて会ったのにも関わらずみんなフレンドリー。





それから食事を頂きました。
少し抵抗はあったけど、インドに来て孤児院取材するって時点でそれなりの覚悟はしていたしこれから行く孤児院は朝昼晩の食を彼らと共にするんだから今ビビっても仕方が無い。

出してもらったのはカレー味のフライドライスとポテト、デザートはマンゴーとキュウリ。

普通に美味しかった。



食事の最中にマンゴーや果物について孤児院の人が話しをしてくれた。

インドは果物美味しいけど、むやみに食べない方が良いでしょう。

インドでは熟す前のマンゴー（木から取ったばかりのマンゴー）に注射、薬を使って一晩で完熟したマンゴーを作っている人もいと教えてくれました。
通常マンゴーは木から取った後、完熟するのに5、6日時間がかかるので、その手間はぶき手取り早く儲けるために彼らはやります。
薬を使ったマンゴーを食べ続ければガリガリになって、癌になるそうです。

また、マンゴーだけでなくリンゴはワックスで磨いたり、スイカや梨の大きなぶどうも薬を使っているという事なので、気をつけて下さい。ぶどうは小さい実のものなら一応大丈夫だそうです。

よっぽど大きなスーパーやきちんとしたホテルなら問題ないとのことですが、路上で売っているものや、うっまさうなマンゴーは怪しいと疑った方がよさそうです。
もちろん中には普通に問題のないマンゴーや果物もあります。

マンゴー好きにはつらいですが、お腹を壊したくないので気をつけます。

今回孤児院で頂いたマンゴーは、自分たちの敷地内で育ててるものを出してくれました。
これがめちゃくちゃおいしかったです！



[続きを読む](#) "マンガー大好きだけど・・・我儘します。"»

カテゴリ:
post by 原 いっほ | 日時: 2011.06.14 | [バーマリンク](#) | [コメント\(8\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

It's my Life > 2011年06月 アーカイブ

11.06.13

思うこと。

[Tweet](#)

[Check](#)

私は今インドにいます。

まだインドの欠片しかというかほとんど何も知らないし見ていないけど、
思う事がたくさんあって、自分の勉強不足さや、
ビビってる自分があるってことも。
だから少し思う事書きます。



FWで旅するなかでインドへ来る事はわかってはいたけれど、
旅をする前もしてる時もインドという国に対して、
基本海外だし他の国と衝撃はだいたい一緒やられて思ってた。

でも、

人生の中でまさかインドに来るとは思ってもいなかった。って、改めて思った。
本当に自分でも不思議に思う。
インド来るのがかってたし、まだインド来て数日で一都市しか見てないから。

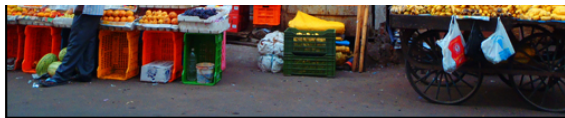
ただ、それくらい何が衝撃的で、

カオスだけど。
40℃だけど。
一言で言えないくらい複雑な国だけど。
めっちゃくちゃホコリっぽくて鼻むずむずするけど。

面白い。

私が滞在しているチェンナイは都会。
車もバイクものめっちゃめっちゃ多くて本当にカオス。
まったく想像してなかった風景ばかり。





フレンドリーなインド人、インド人独特の目力、迫力。
英語は英語だけど、まなりが強い。
料理は最高においしい、辛いけど。
街中は独特の臭い、臭臭。
釜本運転はめっちゃくちゃ。
めっちゃコッパい。
当たり前前の光景1つでも、面白くて絵になって見えてしまう。



すごくごちゃごちゃしてるし、暑い。
いままで旅した国の中でも一番異国を感じる。



でも雰囲気はどこか少しだけベトナムと重なる。
クラクションとか、バイクの多さとかかな。
それを考えると、インドの前にベトナムや他の国があってよかったなって思った。

インド人は、いままで旅してきた他の国でも必ずと言っていいほど見かけた。
だからかな？
とっても不思議な気分になる。今は本当にインドという国で、ここにいる人々みんな、いままで見てきたインド人なんだ。





私が思ってたインドと違った。というのが都市部を想像できていなかったんだ。

想像はかるべく超えた。

もっとお香とかの匂いが漂って、牛がいて、土塵とかがあってって思ってた。

街中では、さまよってはゴミを拾って生活している人々がいる。
その側には新しく大きな建物が建とうとしているし・・・。



発展してきているのか・・・？

カーブ制度とか、格差があるのは分かるけど・・・。

なんなんだろうこの国は。

複雑って言葉では収まらなくて、正直消化しきれない。

広いし。

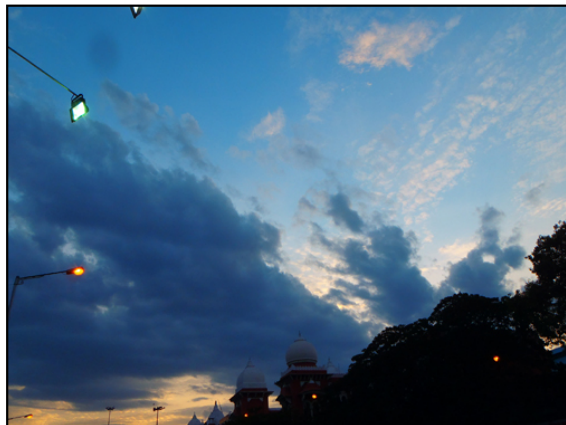
結局私の想像や、私がどう思おうとこれがインドなんだ。

ただ言えるのは、今色々思うけど、嫌いじゃないなこの国。

もっと知りたい。

インドへ来て、毎日カレーを食べている。
やっぱり毎日カレー。

カレーは好きだから全然平気。
平気な上にカレーがめちゃくちゃうまい。
平気なのはいいけれど本気で太ってしまいそうで心配。泣



まだまだインドの事知らないし、まだまだこれから。
最初からいろんな事を見せてくれる国です。

これからの旅が楽しみ。
インドを出る時にどう自分が感じているかまた楽しみ。

暑さに負けぬよう水飲みます。

暑いよ。インド。

[Tweet](#)

[Check](#)

6月10日にマレーシアからインドへ入国しました。

スクーリング施設を出る時、マレーシアまで引率をしてくださった富先生と、FWS期生の
の大和さん、ムサシさんが早朝にも関わらず見送りをして下さいました！

みなさんには本当に感謝しています。そして寂しいです。



富田先生に変わって、マレーシアから引率して下さる丹下さんが6月8日に日本から来て
下さいました。丹下さんはこれからインド、ネパールの間お世話になります。
私はほとんど行動が別となってしまいますが、これからよろしくお願いします。



インドへは朝5時に施設を出発して、
マレーシアから飛行機での移動でした。

施設から空港へ行くまではまだまだ外は真っ暗。



マレーシアの空港から学生のとまるところまでフランスへ行くところまで經由し、そのアタ横目。

インドの空は、フランスの空と違って、とても暖かくて、とても懐かしい空。フランスのときに古市先生がこの空を見て感動してたのを思い出した。
いつ見ても綺麗な空です。



飛行機に乗り込む頃にはもう日が昇ってきてた。
飛行機の中はさすがに寒かった。離陸前に寝たのは初めて。



マレーシアからインドまで約2時間半くらい。

窓からインドが見えた。外はもうインドだ。
想像するけど、想像がつかない。



インド、チェンナイ到着。
インドは暑いと聞いていたが実感としてはそんなに・・・。
まあ暑いよね。って感じ。
暑いのだろうが、前半を旅してきて他にも暑い国があったからか、あ～やっぱり暑いね。
って感じを私は感じました。
でも、暑いのは変わりないです。
きっと暑さもインドもこれからは本番ですね。

空港からホテルまでは車で走る約1時間、無事にホテルにきました。





post by 原 いつほ | 日時: 2011.06.13 | [バーマリンク](#) | [コメント \(11\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

カテゴリ:

[It's my Life](#) > 2011年06月 アーカイブ

11.06.09

明日からインドです。

[Tweet](#)

[Check](#)

どこかインドの雰囲気を感じさせるマレーシア。



いよいよ明日、朝5時にインドへ向けに出発します。

インドという国の話は色々聞くけれど想像が出来なくて、またその出来ない想像を越えてくるインドへ行くのに、ドキドキワクワクですごく楽しみです。

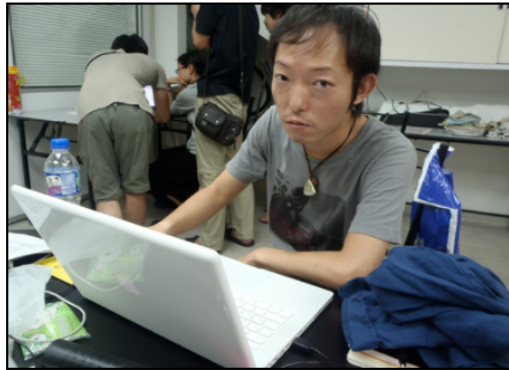
それにしても、マレーシアは良いところでした。
8月に戻ってくるのがまた楽しみです。

スクーリング準備期間前からマレーシアにいる間、FWS期生、マレーシア留学中の穂積大和さんと梅武さん、ウオンさんにはとてもお世話になりました！
先輩方には何處慮された事が・・・楽しかったです！





そしてベトナムからいままで、引率と一緒に旅をしてくださった富田先生がここで一時的に日本に戻られます。



助けて頂く事ばかりでした。
とても心強かったです。
本当にありがとうございました。
また中国から、8月から、お世話になります！

インドへ行ってきます！

post by 原 いつぼ | 日時: 2011.06.09 | [バーミング](#) | [コメント\(4\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

カテゴリ:

[It's my Life](#) > 2011年06月 アーカイブ

やっぱりカエル好き。

[Tweet](#)

[Check](#)

只今マレーシア、KLで

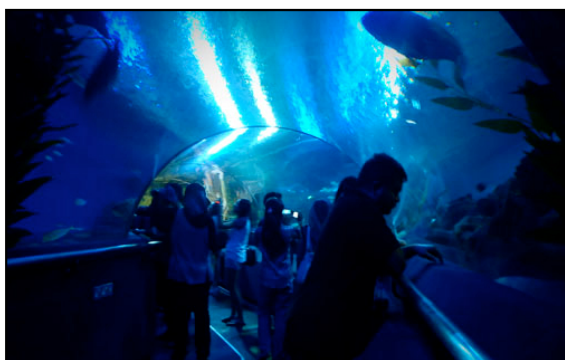
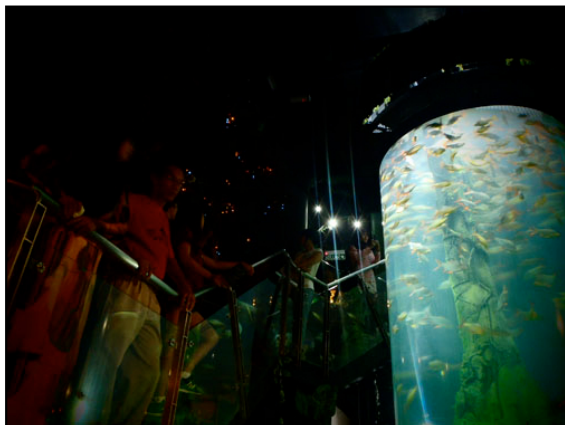
ず。

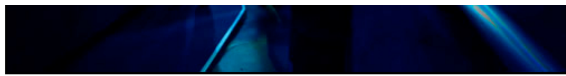
KLCCにある水族館へ行って来たので少しアップします。



日本とはまた違って面白かったです。







ドーンっ！



いったんもんの。

水族館を一周して最後に懐かしいお魚が・・・！

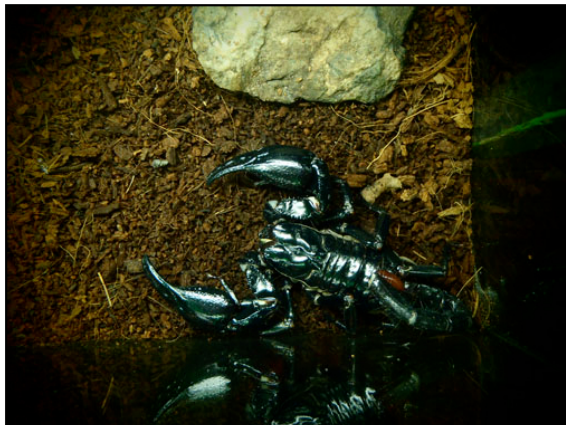
エンゼルフィッシュ



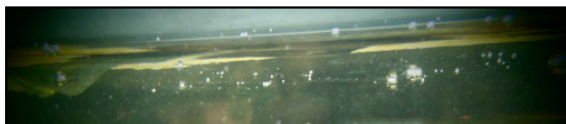
魚は稀いけど、見るのは好きで熱帯魚を飼っていたのですが、色々飼ってたけど、コイツは大きいので死んだ時に困ります。

マレーシアの水族館には、いろんな生き物たちがいました。

蟹 Scorpion



蟹 Crab

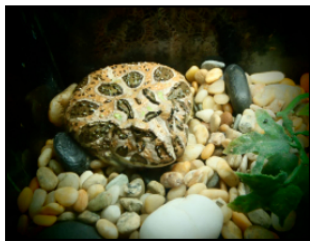




私の苦手な蝶も・・・。



ちなみに私が一番テンション上がったのはカエルでした。



可愛すぎます。

この旅も半分くらい経ったかな。

[Tweet](#)

[Check](#)

6月4日
写真展&スライドショー無事に終わりました。

今回FWで初めて取材撮影をさせて頂いたベトナムの孤児院で撮影した写真のほんの一部ですが、発表させて頂きました。

スライドショーをやっている最中、呼吸してるのが、できているのが分からないくらいの緊張。
英語で話していただければ英語が出来ていたが、話すスピードも早すぎなかったかというのも全然覚えていません。



でもスライドショーを終えて、よかったよ！と声をかけてくださったり、拍手をもらって
たよって聞いて本当に嬉しかったです。

遅くなってしまいましたが、
ここで写真展の機会を与えてくださったOLYMPUS IMAGING 様、
OLYMPUS IMAGING SINGAPORE 様
東京のオリンパス本社様
National Geographic Store Singapore様
感謝言葉を申し上げます。この度は本当にありがとうございました。

写真展自体も初めてで、しかも海外でという事で呼び込みから接客まで分からない事だらけでしたが、オリンパス・イメージング・シンガポールのAntonioさんとナショナルジオグラフィック・ストアのウェイチアンさんが最初から最後まで助けてくださいました。

スライドショーで緊張する私たちにAntonioさんが、

「大丈夫。何度もこういうイベントはやってきているから僕を信じて。」

と仰ってください、スライドショーを前にしてとても勇気が湧きました。

言葉では言い切れないほど、感謝の気持ちです。
写真展、スライドショーの機会を頂いた事に大変感謝しております。
本当にありがとうございました。

写真展は今月いっぱい、シンガポールのNational Geographic Store Singaporeで開催しております。

(This exhibition in National Geographic Store Singapore hold in a month.)



最後に・・・

「僕たちは世界中を旅して見る事は出来ない。
だから貴方たちが世界を見て僕たちに教えて下さい。」

スライドショーが終わって最後にOLYMPUS IMAGING SINGAPORE様のジミーさんが言って下さったお言葉です。

学生だけど学生ではない。一人の写真家として世界を見てシャッターを押し続けていきたいです。この旅を半分終えて思う事です。

カテゴリ：
post by 原 いつほ | 日時: 2011.06.09 | [バナーリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[It's my Life > 2011年06月 アーカイブ](#)

11.06.03

シンガポールにて写真展開催中

[Tweet](#)

[Check](#)

只今シンガポール、オリンパス様からご協賛して頂いているカメラで撮影した写真で写真展をしています。

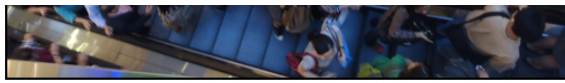


開催場所はシンガポールのナショナル・ジオグラフィック・ストアの中です。



ストアのあるモールはととても大きい。





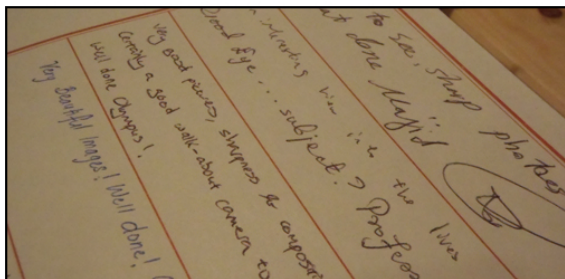
今日は写真展3日目

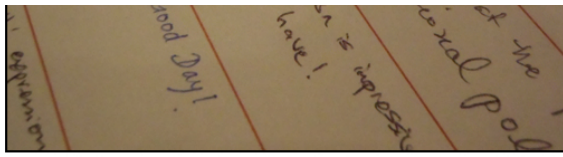
みんな浴衣です。
何年ぶりの浴衣だろうか・・・。
着付けは小林さんが毎日手伝ってくれます。本当にみんな助かってます。

1日に日本から熊倉局長が駆けつけてくれました！



平日にも関わらず多くの人が見に来て下さいます。





宣伝用のチラシを一生懸命配る表上さん



明日はFW中に撮影した写真をスライドショーで発表します。
私以外に、高野さん、鈴木くん、清水さんの三人です。

スライドショーはもちろん英語。
自分がやるなんていままでも信じられない。
でも今の自分なら信じられる。それでも不安でいっぱいけど、

本当に切実の事ばかりで、すごい経験をさせてもらってます。

すごくドキドキで緊張もするけど、とにかく出来る事から頑張ってきます。

カテゴリ：
post by 原 いづほ | 日時: 2011.06.03 | [バナーリンク](#) | [コメント\(4\)](#) | [トラックバック\(9\)](#)

It's my Life > 2011年06月 アーカイブ

スクーリングを終えて。

[Tweet](#)

[Check](#)

出発から約80日が立ちました。
本当に早く感じる。

先月の17日からスクーリング第一回目スクーリングの準備を始め、24日から28日までスクーリング(写真の講評)がありました。

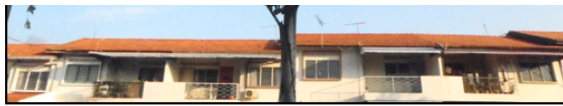
準備中、スクーリング中のみんなの写真が少ないのはご了承下さい。





マレーシアは過ごしやすい。ご飯もおいしいし、人が優しい。
日本からお見えになった先生方はマレーシアの温気を感じたらしいのですが、旅慣れてきたせいなのかまったく温気を感じない。でも、マレーシアも日差しが強い。





23日にプライベートでマレーシアに来て下さった音蔵先生。
音蔵先生がカレーとハヤシライスを作ってくれました。
ほんと美味しくてすごい返りの早さ。
徳田さんはお米2合強くらい食べておられました。



スクーリング最終日、すごく綺麗な夕日でした。
27日に鈴木先生、板塚先生。31日に音蔵先生が日本に帰られました。

ご指導ありがとうございました！



スクーリングはずっと楽しみでした。
そしてスクーリングを終えて、本当にスクーリングやれてよかったです。
スクーリング準備期間も含めて、自分とも、写真ともしっかり向き合えたと思います。
まだまだ勉強中で、弱い自分もすごく知ったし、これからの目標も見つけました。
日々出来ない事を現場へ行って出来るなんていう事はありえない。
今更ながら日常が写真家にとってすごく大きなものであり、私の課題の一つである勉強しました。
日々の積み重ねから一歩ずつだと改めて感じました。

「夢はでっかく根は深く」

・・・・・・・・

好きな言葉の一つ。

後半はインド、ネパール、中国です。
インドの独特と言われる雰囲気、ネパールでは写真展やヒマラヤ、中国はラサヤ万里の頂上など、後半もまた面白そうな事ばかりで楽しみです。

今は今しかないので、今出来る事から頑張ります。

カテゴリ:

post by 原 いづほ | 日時: 2011.06.03 | [バーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)